

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画 策定検討委員会

議題① 第1回委員会議事内容等の確認

議題② まちづくり実施計画（他3地区）中間報告

1章 江川総合運動場周辺

2章 木更津駅周辺

3章 旧庁舎跡地

4章 回遊性向上

議題① 第1回委員会議事内容等の確認

■第1回委員会 令和6年7月26日開催

【第1回委員会における主な意見内容と対応方針案】

項目	主な意見内容	対応方針案
全体	・例えば金田地区に訪れた人々がどのようなきっかけで木更津駅周辺地区まで足を延ばすのか、回遊性全般について現段階のコンセプトでは弱いと感じる。	・市でも回遊性を高めるため様々な取り組みをしているところであり、拠点はいくつも形成されつつある状況だが、これら拠点どうつなげていくか、今後改めて検討していければと思う。
	・回遊性や動線等を示す際には、そのストーリーや、時系列(平日・休日、平時・災害時等)などで表現されるとよい。	・今後検討を深度化していく際に参考にさせていただく。
江川総合運動場周辺	・築山への視認性は十分に検討されているか。	・基本計画での築山の配置検討の際に、視認性の観点での検討を実施した。加えて、津波避難時に少しでも避難時間を短縮できる位置であることから南西側に設置している。
	・築山へのアクセス路が頂上付近で階段となっているが、バリアフリーの観点で問題ないか。また頂上まで登れない場合、浸水深さの想定上、途中部分でも安全性に問題がないのであればそれがわかるように図で示してほしい。	・現在示しているパースはあくまでもイメージ段階のものであり、今年度の検討のなかで、この築山について配置や形状も含めて、詳細に検討していく。
	・地区内の築山、民間活力導入エリア、運動施設間の回遊性や連携について示してほしい。	・令和4年度基本計画策定時のヒアリングでも運動場との連携を考えていきたいという意見があったため、今年度改めてヒアリングをするなかで、地域内連携の観点でも検討をしていきたい。
	・近隣住民が具体案に対して意見を言う場をつくっていただきたい。	・令和6年8月30日に久津間地区住民ヒアリングを開催。
	・公園を運営していくにあたって近隣住民が維持管理していく必要があるか。	・現段階では市管理の都市公園として位置づける予定のため、市で維持管理していく。

議題② まちづくり実施計画（他3地区）中間報告

目次

1章 江川総合運動場周辺

- ・ 江川総合運動場周辺の位置づけ
- ・ 江川総合運動場周辺の現況把握
- ・ 公園としてのコンセプト
- ・ 防災拠点としての考え方
- ・ 主な導入機能
- ・ 全体配置案（動線計画）

2章 木更津駅周辺

- ・ 木更津駅周辺地区の位置づけ、現況
- ・ 木更津駅周辺地区内における中心市街地活性化基本計画の事業概要

3章 旧庁舎跡地

- ・ 旧庁舎跡地の位置付けおよび周辺状況
- ・ 木更津市公設地方卸売市場経営戦略の概要
- ・ 卸売市場に導入が想定される「賑わい施設」の事例

4章 回遊性向上

- ・ 本計画における回遊性向上の方針
- ・ 広域的回遊性／連携のしかけの例
- ・ 内港エリアの回遊性／連携のしかけの例

※下線部は、第2回委員会で特に議論いただきたいポイント

1章_江川総合運動場周辺

- ・ 江川総合運動場周辺の位置づけ
- ・ 江川総合運動場周辺の現況把握
 - ・ 対象地の周辺環境
 - ・ 江川総合運動場の運用状況
 - ・ 久津間地区の住民ヒアリング結果
- ・ 公園としてのコンセプト
- ・ 防災拠点としての考え方
- ・ 主な導入機能
- ・ 全体配置案（動線計画）
 - ・ ゾーニング例
 - ・ 各空間イメージ
 - ・ 防災機能の配置例

※下線部は、第2回委員会で特に議論いただきたいポイント

江川総合運動場周辺の位置付け

■木更津飛行場周辺まちづくり基本計画(R4年度策定)

対象：江川総合運動場周辺

位置づけ：“防災機能を備えた公園等の施設づくり”

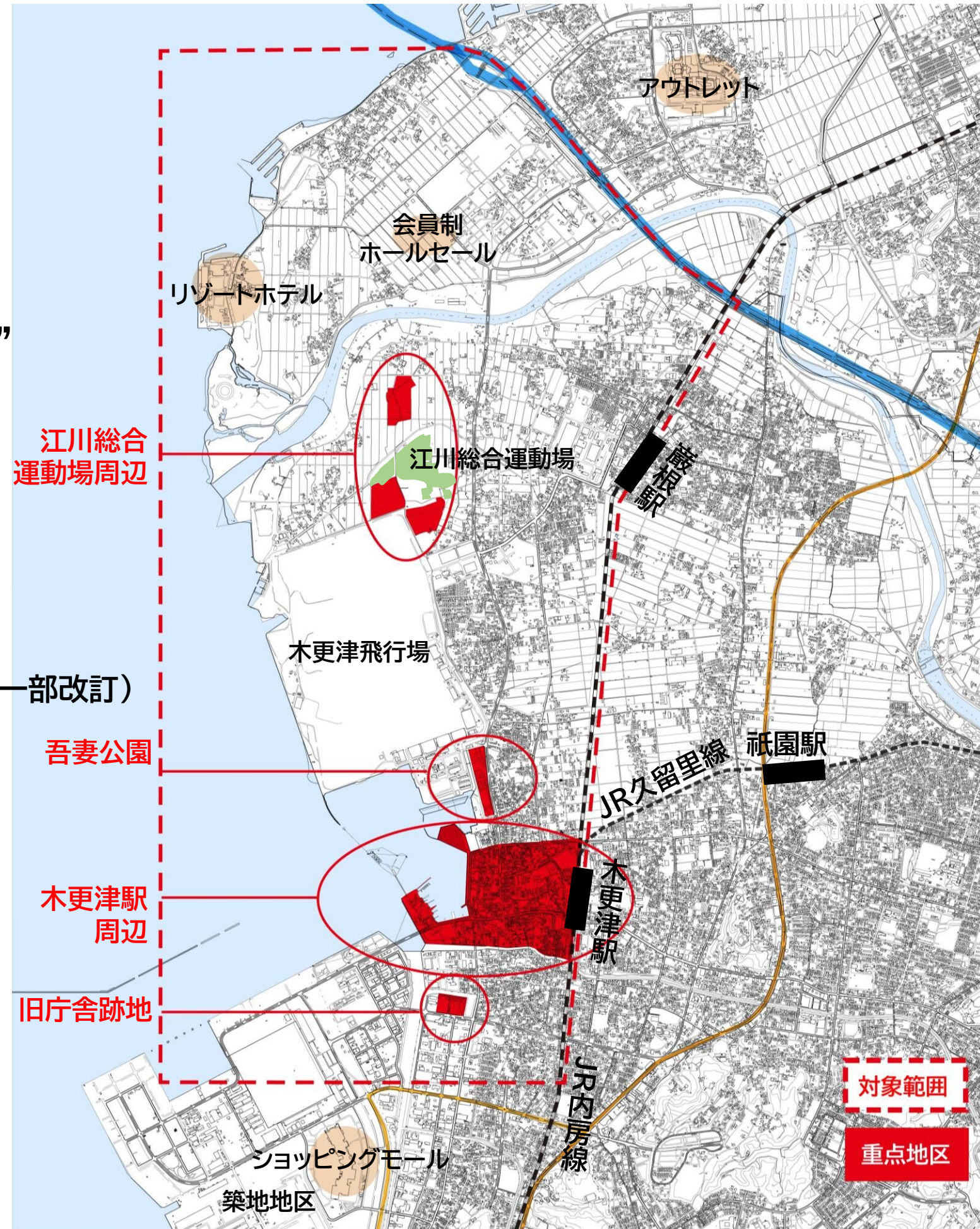
目標：住宅、商業ともに開発が進んでいる
金田地区～旧庁舎跡地にわたる区域を
一体的にとらえたうえで
回遊性の向上を図るために
指定された重点地区のうちのひとつ

■木更津市都市計画マスタープラン(H27年度策定, R4年度一部改訂)

対象：江川総合運動場

位置づけ：“森の拠点・みどりの拠点”

目標：地域の拠点となる公園や緑地として
位置づけられ、自然とのふれあいの
場として活用を図る



現況把握 : 防災機能を備えた公園エリア

防災機能を備えた公園
(民活+築山+駐車場)

敷地北側は農地・水田が広がる



国有林内は多様な樹種であり
樹木の間隔が密



多目的広場
(多目的広場+駐車場)

樹木はほとんど見受けられず
草原が広がっている



現況把握：江川総合運動場の運用状況

- ・市内全域からの利用あり。市外からも多い
- ・週末はほぼ稼働、平日はまばら
- ・大会利用が多いのは、サッカーおよび野球
→野球の場合、複数日に渡って大会が実施されている
- ・江川第1・第2野球場、江川陸上競技場は利用団体の数が多い
- ・施設を単体で利用するのではなく、複数施設をまとめて予約する団体が多い
- ・駐車場は大会が重なると台数不足の場合がある
- ・現状、合宿等の宿泊を伴う利用はあまり多くない（県外から年に数回程度）
- ・木更津飛行場の規制から、夜間照明がなく運用は8：00～17：00



現況把握：久津間地区の住民ヒアリング

日時：令和6年8月30日 18時30分～19時30分
場所：久津間区集会所
出席者：区長や組長含め約16名

懸念事項

■全般

- ・道路事情は加味していただきたい
- ・農業用車両への配慮

■災害時

- ・津波以外でも、災害時は利用できるか

導入が望ましい機能

■災害時

- ・貯水機能（日常：子供たちの水遊び場/非常時：防災用に利用など）
- ・飲料水や非常用発電機
- ・避難用の救命ボート、モーターのついた船など
- ・築山に非常用トイレ（避難人数が最大2400人と多いため）
- ・築山に車で上がれる機能（救急車両の動線にもなるため）

■平時

- ・じゃぶじゃぶ池、調整池など水辺空間（火事の懸念があるならば防火用水にもなる）

その他自由意見

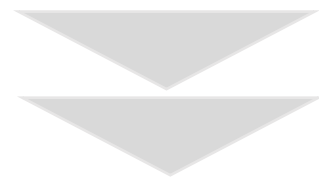
- ・子ども連れなどがくるのが想像できてよいと思う
- ・地元の人はこの自然環境が見慣れた風景のため、来訪者向けの公園でよいのではないか
- ・外から来た人で地元を盛り上げてもらうほうがよい
- ・道の駅のような地元農産物の販売所があっても良いかもしれない

等

公園としてのコンセプト

まちづくり基本計画段階の整備方針 「防災機能を備えた公園」

- 災害時に対応できる施設づくり
- 公募設置管理制度(Park-PFI)等の活用



■実施計画での公園整備方針のポイント

- 既存**国有林のポテンシャル**を最大限にいかした「**癒し**」の公園
- 江川総合運動場との**運動機能**での連携
- 築山である**高台**をいかした空間づくり
- アクアラインや県道からのアクセス性のよさをいかし
市民および関東近郊からの**来訪者が楽しめる公園、交通の結節点**
- **日常的に、防災拠点であることをアピール**できる公園づくり

公園としてのコンセプト

防災と日常の掛け算をテーマにした公園づくり × 様々な滞在施設で非日常体験が味わえる「癒しの森」

○アグレッシブなアクティビティを体験できる場

○災害時に役立つ様々な防災の知恵と技を競技として体験できる場

主な園内施設：プレーパークができる広場、防災スポーツの競技拠点（築山）



防災スポーツイベントイメージ



プレイパーク利用イメージ



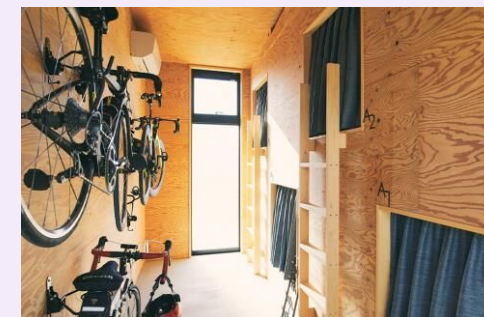
○森のなかで非日常感が味わえる場

○モビリティポートの整備によって木更津市内全体の回遊性を促す拠点に

主な園内施設：多様なタイプのキャンプ場・宿泊施設、サウナ施設



様々なキャンプ施設



自転車を持ちこんで
泊まれる簡易宿



森の中のサウナ

上記にくわえ、 売店・レストラン、モビリティポート（電動自動車、グリーンスローモビリティ、自転車）の導入を想定

防災拠点としての条件



築山

- 海岸の氾濫や小櫃川が氾濫した場合の浸水想定区域の範囲であり、周囲に避難施設がないことから江川総合運動場北側の防衛省国有地を活用し築山等の防災機能を確保

条件)

- 計画高：6.0m
江川総合運動場周辺の浸水深は1.0m以上3.0m未満であることから、余裕高さを考慮し、6.0m
- 避難想定人口：2400人
周辺住民(約350人)と江川総合運動場利用者(約1990人)
周辺住民：当該施設を中心に津波到達予想時間から算出した避難可能距離900m以内に居住する人口
江川総合運動場利用者：利用実績を踏まえた想定最大利用者数
- 頂上部の広さ：2400㎡
当該施設は津波発生時に一時的に避難する施設であり、一時避難後は安全な避難所へ移動することとなるため、人が立って過ごすことができる広さとして1人当たり1㎡と設定

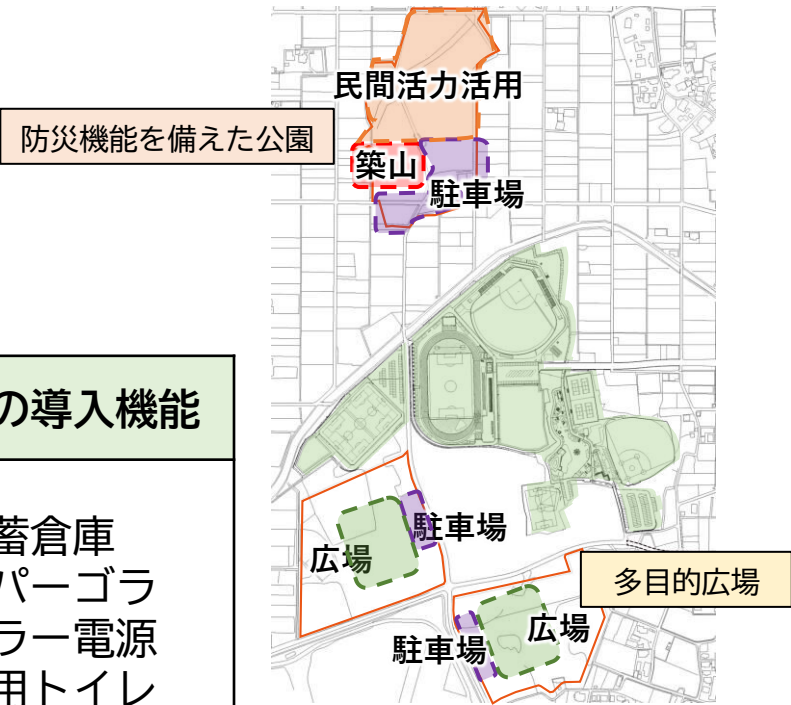
多目的広場

- 災害復興関係の作業車駐車スペースなど、臨時駐車場としても活用可能な広場の確保

駐車場

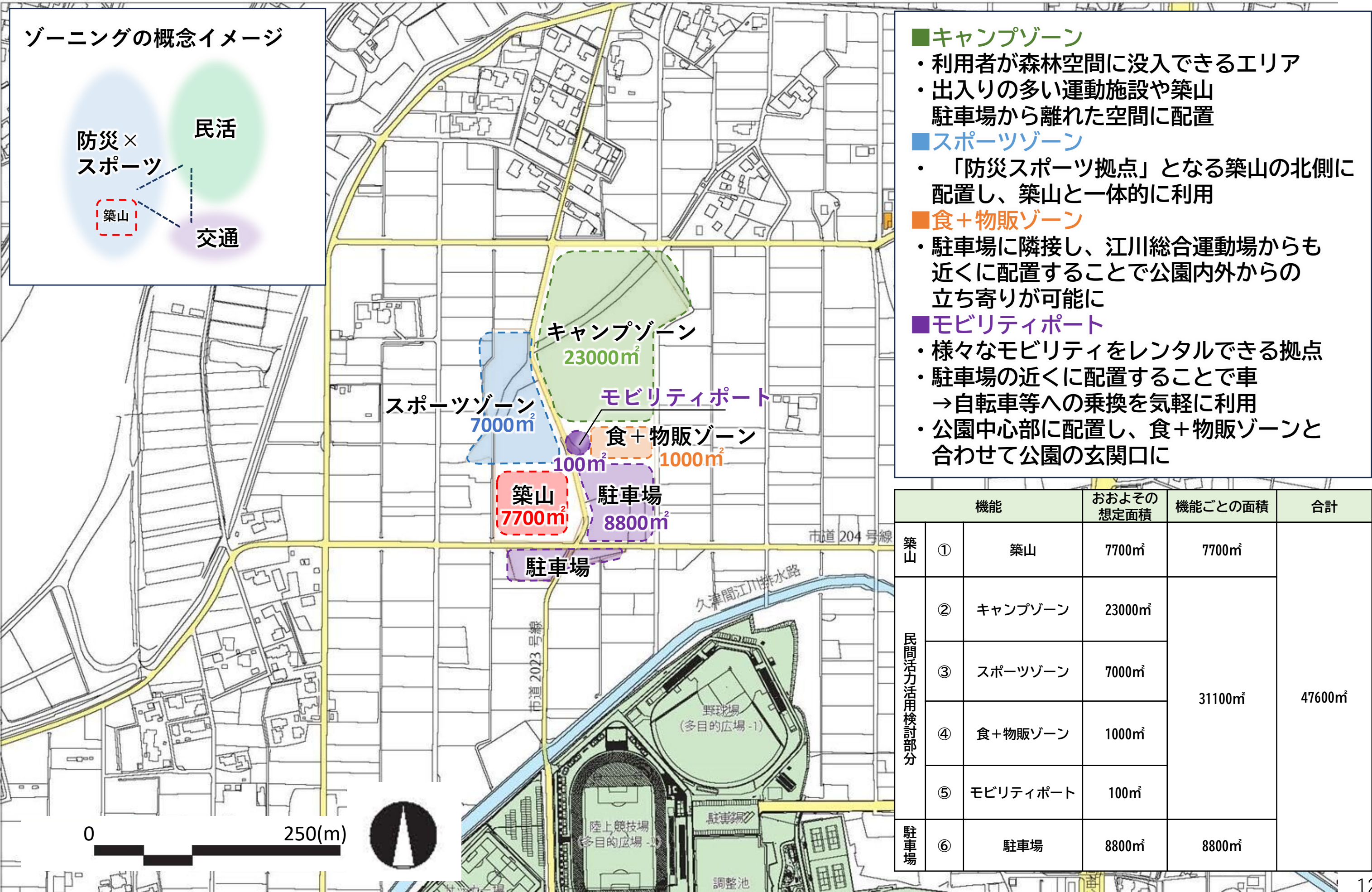
- 日常的な公園利用とともに、津波発生時に自動車での避難も想定した駐車台数を整備
- 防災機能を備えた公園：約285台
周辺世帯数(140世帯)＋江川総合運動場駐車場・築山接続(366台)
×東日本大震災における自動車による避難率(56%)
※台数算出の根拠
周辺世帯：世帯ごとに1台に乗車すると想定
江川総合運動場駐車場(築山接続)：サッカー場(96台＋60台)
多目的広場/210台
- 多目的広場：約210台

主な導入機能



項目		まちづくり基本計画 における機能	実施計画での検討方針	平時の導入機能	災害時の導入機能
防災機能を備えた公園	築山	築山の高さ 6.0m 総面積 約7,700㎡ 頂上部の面積 2,400㎡ (避難時 一人当たり1㎡) 避難想定人口 2,400人	築山形状の見直し および 築山上部の設置工作物の 見直し	斜面のアスレチック遊具活用 防災スポーツイベントの実施	備蓄倉庫 防災パーゴラ ソーラー電源 災害用トイレ
	民間活力を 活用した施設	民間活力導入の活用を検討 約31,100㎡	導入機能や規模の検討	プレーパークができる広場 多様なキャンプ場・宿泊施設 サウナ施設 売店・レストラン モビリティポート	一次宿泊施設 災害時充電ポート 炊出し 臨時入浴施設
	駐車場	駐車台数 約285台 総面積 約8,800㎡	公園の詳細な検討を 踏まえた 配置の見直し	施設利用者のための駐車場	施設利用者 および 周辺住民の 自動車による避難先
多目的広場	多目的広場	約23,000㎡	導入機能の見直し	グラウンドや広場空間など 多目的に使える オープンスペース	臨時駐車場 大規模災害時の災害 用車両待機場
	駐車場	駐車台数 約210台 総面積 約4,700㎡	公園の詳細な検討を 踏まえた 配置の見直し	施設利用者のための駐車場	施設利用者 および 周辺住民の 自動車による避難先

全体配置案　：　ゾーニング例



全体配置案：各空間イメージ / 築山

築山の整備イメージ：日常的に周辺住民にとって意識できる場所にありかつ日頃から利用しやすいものとする

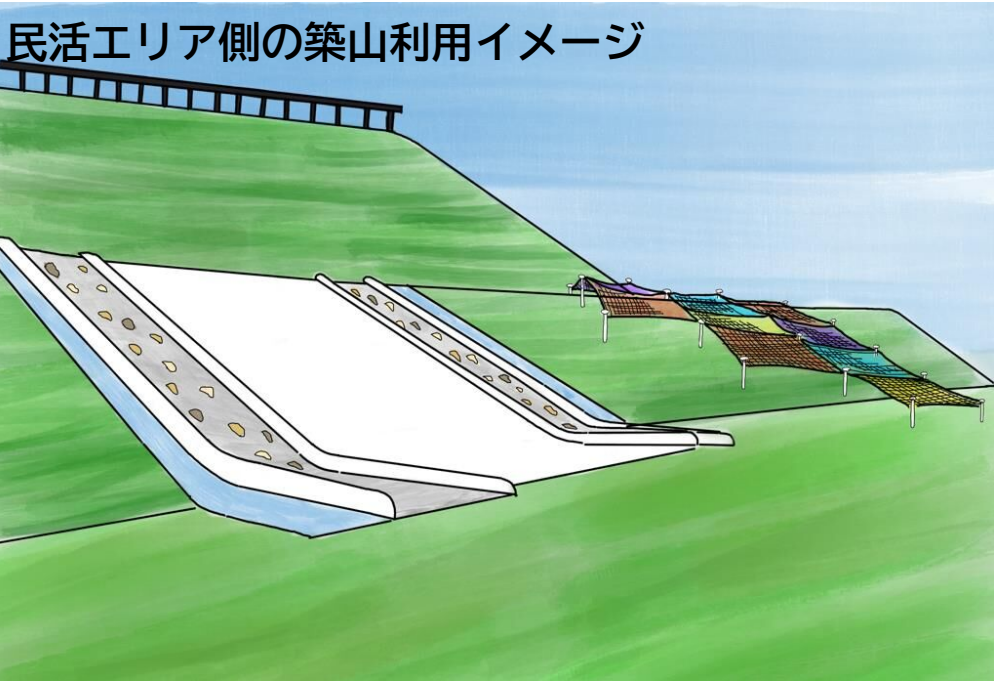
築山整備イメージの一例（千葉県旭市 日の出山公園 高さ7m）



<https://asahicity-kanko.jp/recovery/category/recovery/p4752/>



築山法面利用のイメージ：災害時に役立つ様々な防災の知恵と技をスポーツ競技として体験できる場としたり法面にすべり台やネット遊具等のアスレチック遊具を設置し、日常的な利用を促す



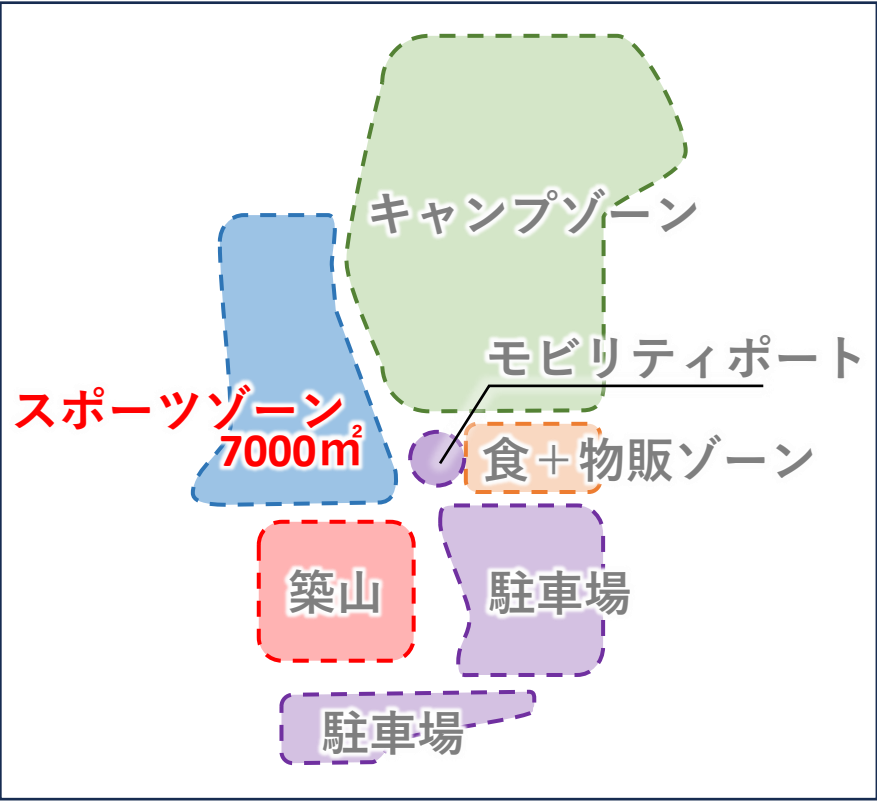
[\(https://bouspo.jp/bou_league/\)](https://bouspo.jp/bou_league/)

 Caterpillar Escape [キャタピラ逃避競争]	 Rescue Time Attack [毛布担架障害物競走]	 Water Rescue [水難救助競争]	 Cat Cycle Race [一輪車障害物競争]
 Bucket Relay & Shooting [バケツ消火リレー]	 GO! GO! Carry [物資搬送リレー]	 BOUSAI Knowledge Training [防災知識プログラム]	

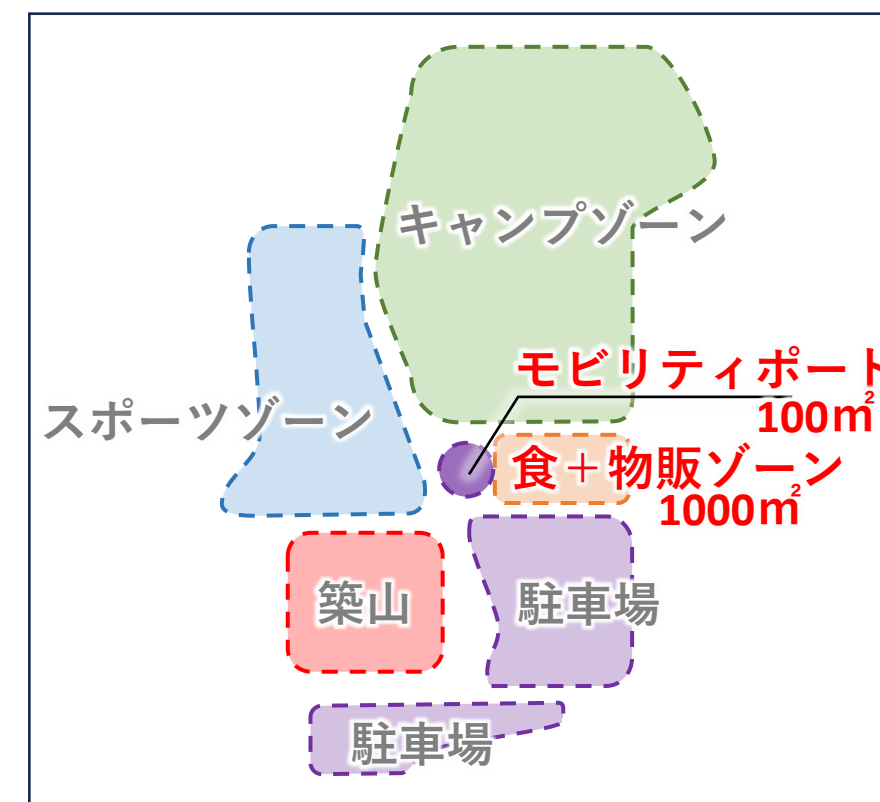
全体配置案 : 各空間イメージ / キャンプゾーン



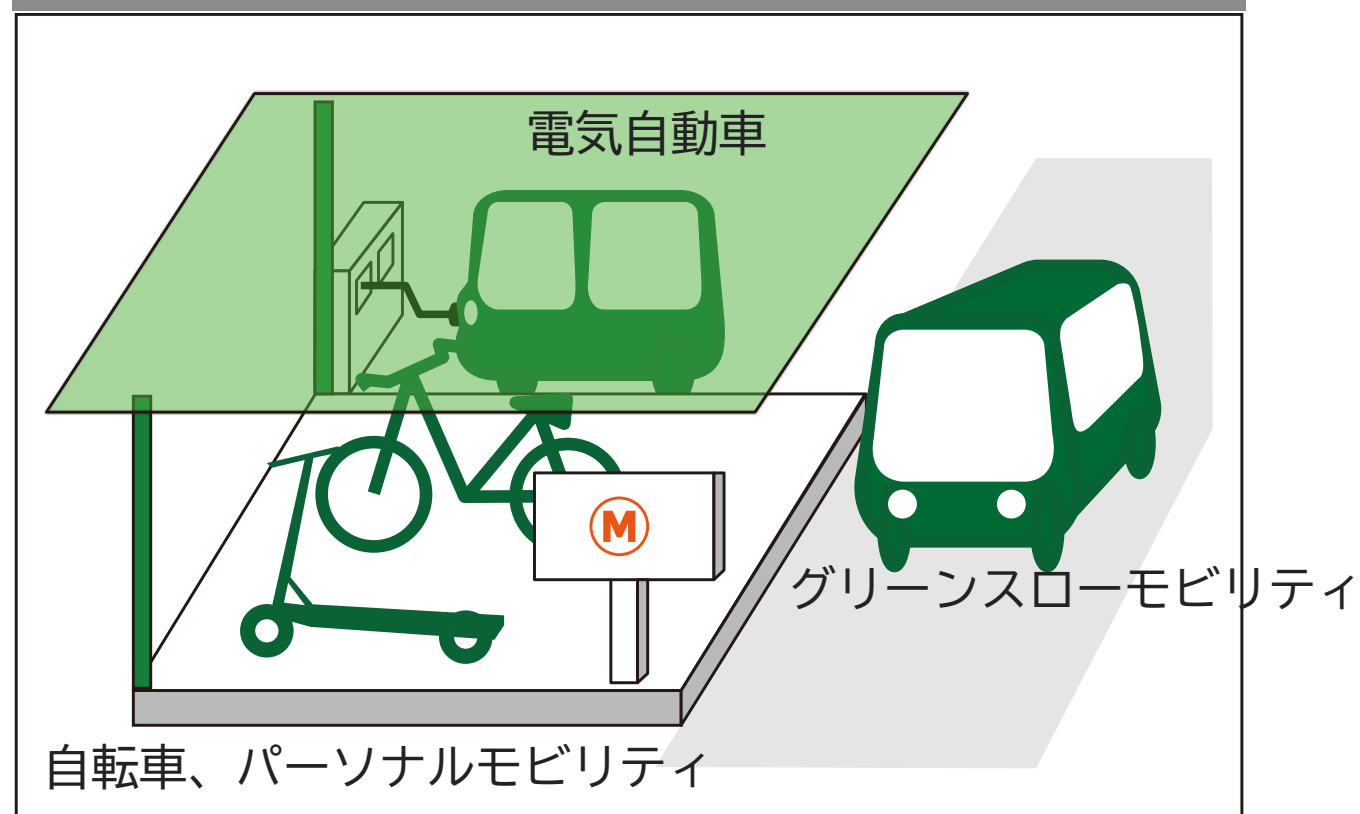
全体配置案　：　各空間イメージ　/　スポーツゾーン



全体配置案 : 各空間イメージ / 食+物販ゾーン・モビリティポート



木更津への来訪者が気軽に市内を周遊できるよう
電動自転車など様々な乗り物を借りられる拠点



全体配置案：防災機能の配置例

築山：避難空間2400m²（津波時一次時避難スペース
発災後、避難所開設・津波が引いた状態
になるまでの短時間の滞在を想定）

備蓄倉庫、防災パーゴラ、ソーラー電源、



備蓄倉庫イメージ



防災パーゴライメージ

民活エリア：一時宿泊所（発災後、3日程度）

備蓄倉庫（管理棟に併設）

防災用井戸／耐震性貯水槽、災害用トイレ

炊事場、かまど型ベンチ

非常用自家発電設備（3日程度）、ソーラー電源



防災用井戸イメージ

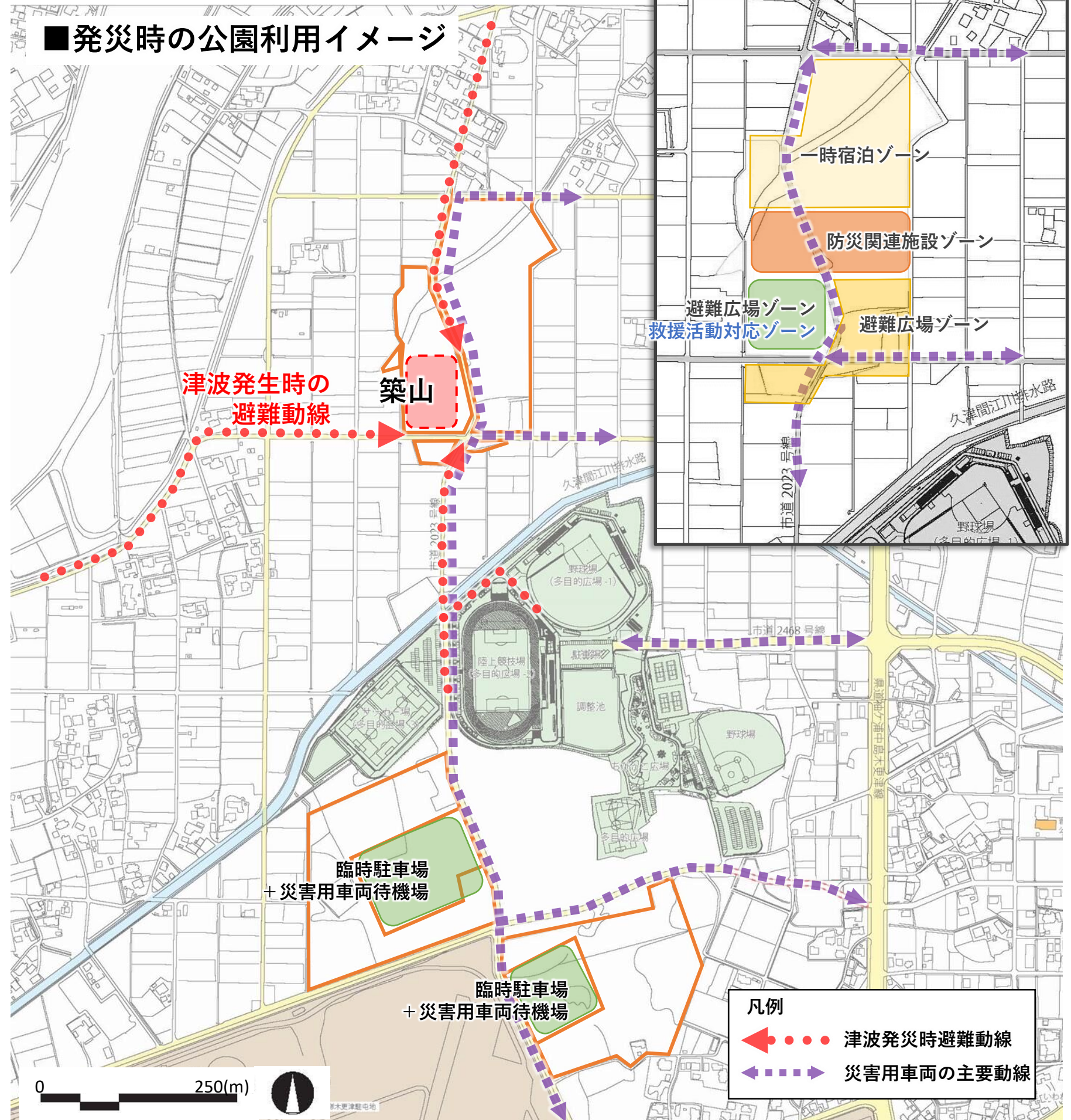


かまど型ベンチイメージ

多目的広場：臨時駐車場
大規模災害時の
災害用車両待機場



■発災時の公園利用イメージ



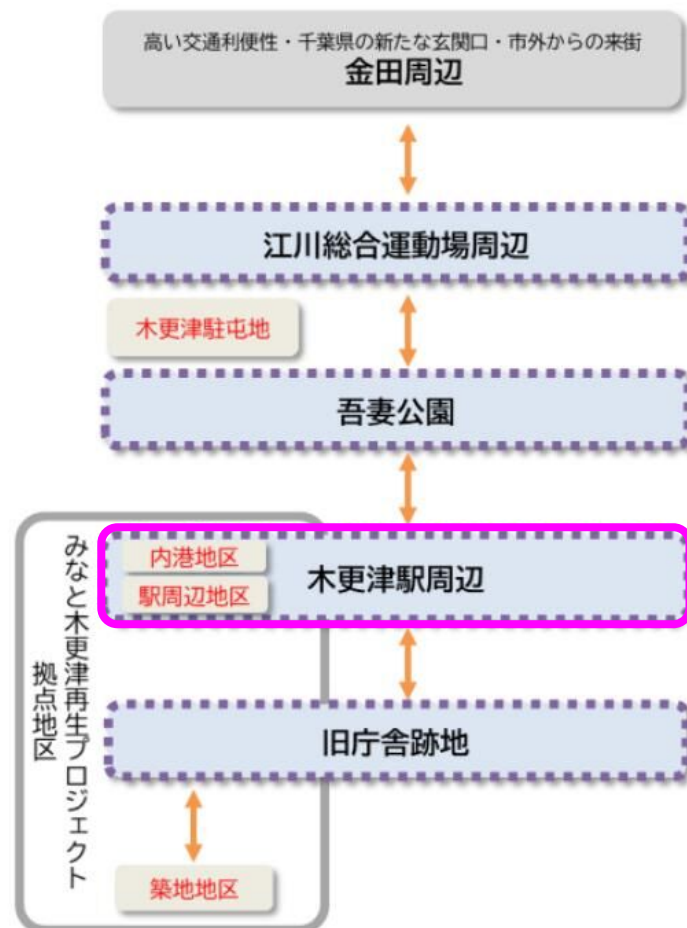
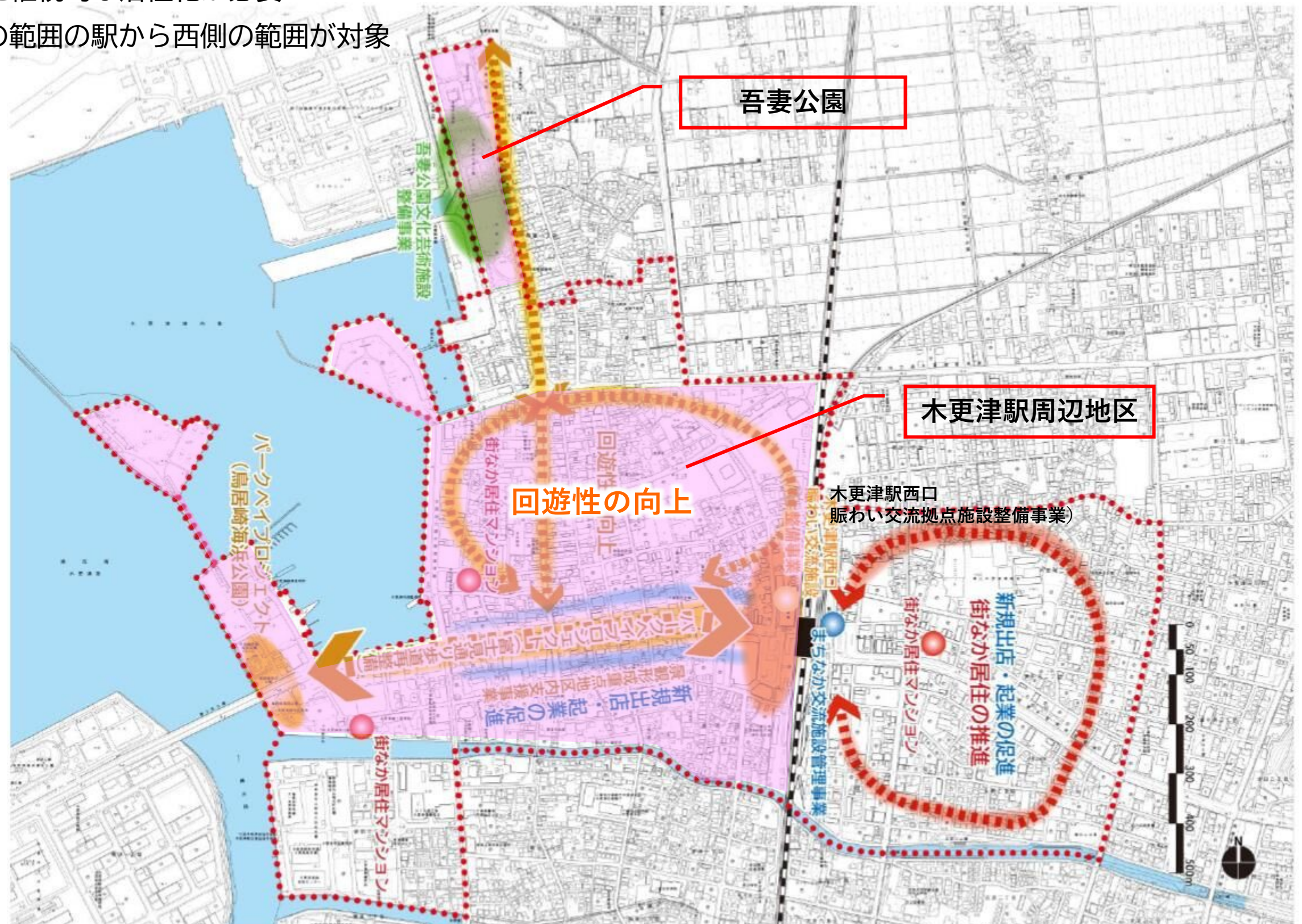
2章_木更津駅周辺

- ・木更津駅周辺地区の位置づけ、現況
- ・木更津駅周辺地区内における中心市街地活性化基本計画の事業概要

木更津駅周辺地区の位置付け、現況

- ・みなとまち木更津の魅力を再生するエリア
- ・歴史ある商業エリアだったが、空き店舗の増加などによりにぎわいが消失
- ・富士見通りの再整備の踏まえた継続的な活性化が必要
- ・主に、中心市街地活性化計画の範囲の駅から西側の範囲が対象

-  中心市街地活性化計画（第二期）の対象エリア
-  木更津飛行場周辺まちづくり基本計画の重点地区エリア



木更津駅周辺地区内における中心市街地活性化基本計画の事業概要

 中心市街地活性化計画（第二期）の対象エリア

木更津飛行場周辺まちづくり基本計画の
重点地区エリア

【中心市街地活性化基本計画】

第1期

計画期間：令和2年4月～令和7年3月

区域面積：132.7ha

第2期

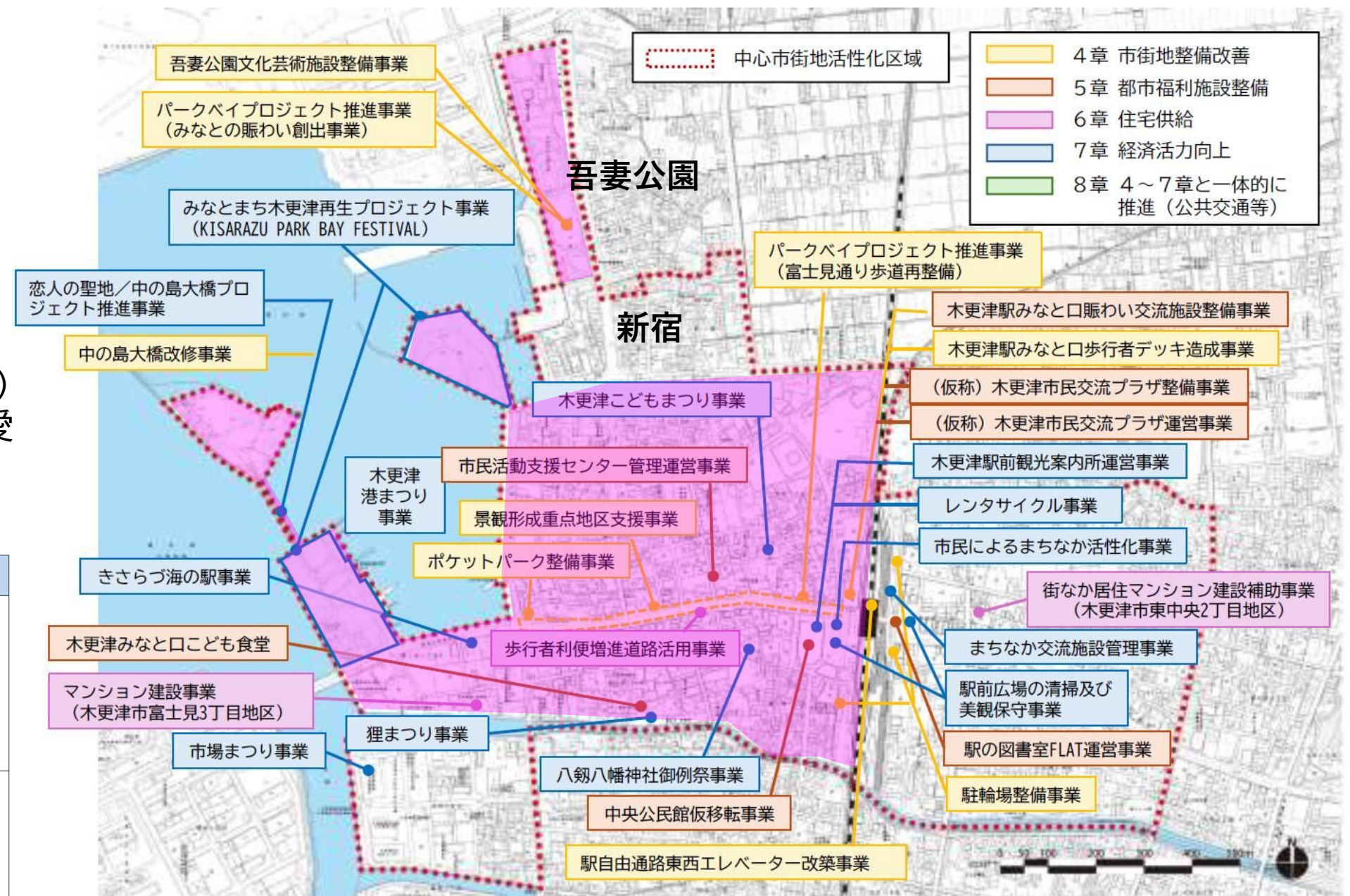
計画期間：令和7年4月～令和12年3月

区域面積：146.95ha（新宿と吾妻公園範囲が追加）

全体テーマ：「人と人とが行き交い、みんなが愛
着を感じるみなとまち 木更津」

第2期の目標指数及び数値目標

基本方針	目標	目標指標	基準値	目標数値
方針① にぎわい、交流 を生むみなとまち のへの持続的 発展	①休日のにぎわい 創出	①休日歩行者通行 量（人）	14,856 人 （R6）	18,382 人 （R11）
方針② 魅力ある 住環境の整備	②街なか居住人口 の増加	②中心市街地内の 人口の社会増減数 （人／年）	56 人／年 （R1～R5 平均）	72 人／年 （R7～R11 平均）
方針③ 商業環境の充実 による経済活力 の向上	③商業機能の活性 化	③中心市街地内の 新規出店数（件）	4.6 件／年 （R1～R5 平均）	5.0 件／年 （R7～R11 平均）



まちなか景観形成 推進事業	道路交差点名標示板 設置事業	保育士修学資金貸付事業	まちなか見守り事業	街なか居住マンション 取得事業	空き家バンク・リフォーム 助成事業	安心・安全なまちづくり 事業	オーガニックシティ木更津 ごみゼロプロジェクト事業
地籍調査事業	おもてなし環境整備事業	オーガニックシティ推進 事業	芸術文化に親しむ まちづくり振興事業	みなとまち木更津再生プロ ジェクト事業	商業団体等イベント 実施事業	産業立地促進事業	中活コーディネーター 設置事業
空き店舗マッチング事業	商業団体等活性化支援事業	中心市街地誘客事業	リノベーション活用 推進事業	木更津港大型クルーズ船 誘致事業	中心市街地経済活性化アド バイザー活用事業	結婚新生活支援事業	地域資源を活用した 中心市街地回遊性向上事業
まちなか情報発信事業	創業支援事業	アクアコイン普及推進事業	中心市街地商業活性化事業	ユース世代による 中心市街地活性化事業	みなとオアシス木更津事業	中小企業融資対策事業	中小企業相談業務運営事業
木更津DMO運営事業	地域公共交通再編事業						

【事業実施場所が全域となる事業、地点を限定しない事業】

【事業実施場所が全域となる事業、地点を限定しない事業】

木更津駅周辺地区内における中心市街地活性化計画の主な事業概要

■パークベイプロジェクト推進事業

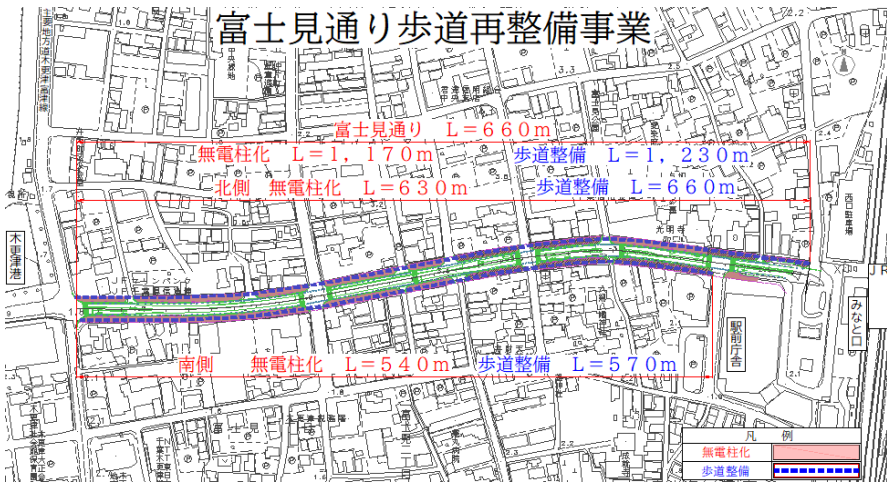
中心市街地活性化基本計画に位置付けられる主な事業のひとつで、内港周辺の都市公園に民間事業者と連携した賑わい施設を整備するとともに、富士見通りの再整備を一体的に行う取り組み。
先導的に再整備工事が進められていた「鳥居崎海浜公園」は、新たな「食」の拠点として令和4年3月にオープンした。



■富士見通り歩道再整備(歩道再整備・無電柱化)

パークベイプロジェクト推進事業の一環。
安全で快適な通行区間の確保及び景観の向上や、歩行者の回遊性向上を目指し、令和5年度には、地域特性に応じた景観形成の先駆けとなるストリートファニチャーが計画され、令和6年には無電柱化工事がすすめられている。

	R3	R4	R5	R6	R7	R8以降
①無電柱化工事						
②歩道意匠設計 (ワークショップ等開催)						
③歩道再整備工事						
④車道舗装工事						

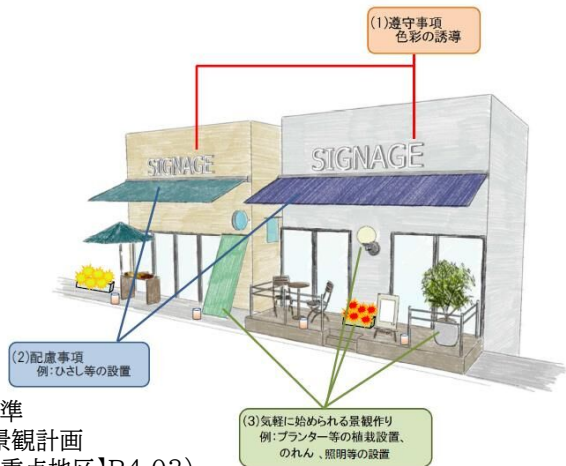


■市景観計画

■【木更津駅みなと口景観形成重点地区】

■木更津駅みなと口景観形成重点地区ガイドライン (令和4年3月)

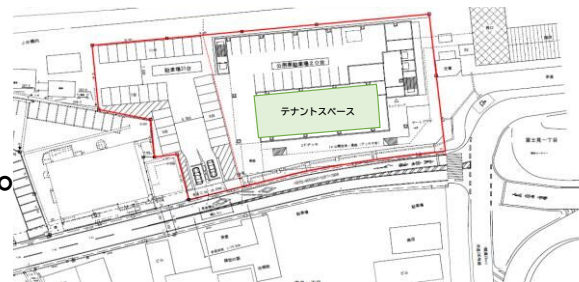
富士見通りは、木更津市景観計画において「木更津駅みなと口景観形成重点地区」に指定されており、本ガイドラインにおいて、魅力的な景観形成推進のために景観形成基準が具体的に示されている。



木更津駅周辺地区内における中心市街地活性化計画の主な事業概要

■庁舎整備基本構想・基本計画(改訂版)(令和6年2月一部改訂)

平成24年より開始された庁舎整備計画は、社会情勢や施設老朽化の状況、住民の利便性などを考慮して見直しが行われた。令和6年2月に発表された一部改訂版では、事業用地の確保や来庁者の駐車場の確保、必要な財源の確保などの観点から整備事業手法の再検討が行われ、駅周辺庁舎が自前建設に変更。一部のフロアが市民交流プラザ（仮称）として整備予定。



駅前新庁舎敷地概要



駅前新庁舎 参考パース図

(仮称)市民交流プラザ整備概要案

コンセプト	ユース世代を中心に世代を超えて交流し学び合いを生む次世代コミュニティセンター
規模	約1,400㎡(2階)
機能	【複合施設】 ①市民活動支援センター機能 ・市民活動支援カウンター、ワークラウンジ ②多目的ホール機能 ・会議室、多目的ホール(会議室の一体利用による) ③コワーキングスペース機能 ・ラウンジ(オープンスペース)、集中室 ④附帯機能 ・カフェ、キッズスペース、閲覧図書、情報発信 等

※1 高校生を中心とした若者世代 ※2 打合せや作業等が行える活動スペース ※3 仕事や勉強等が行えるシェアスペース

20

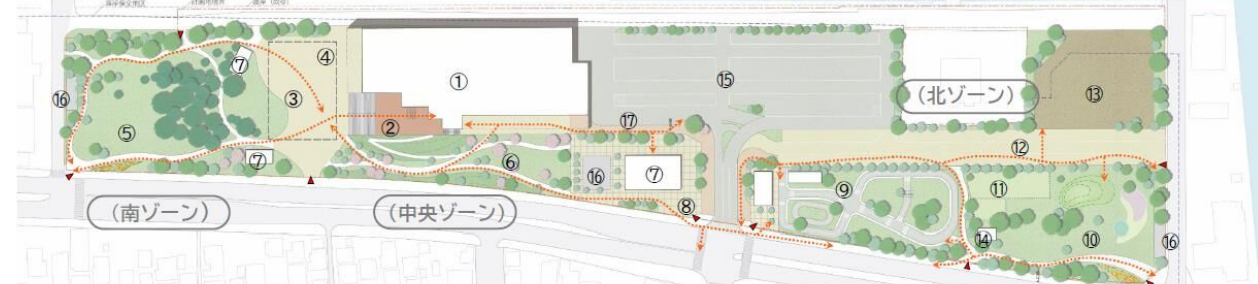
■木更津飛行場周辺まちづくり実施計画(吾妻公園)

文化芸術施設の整備を含む約4haの地区公園の実施計画が令和6年3月に策定。駅周辺地区、内港地区に近接し、それぞれの回遊性や賑わいを高める拠点として位置づけられている。
文化芸術施設：約700席の中規模ホール、図書館、中央公民館
公園：大屋根広場、公園広場、ドッグラン、交通公園、民活施設、駐車場等



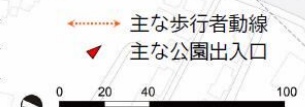
吾妻公園整備イメージ

- 誰もが心地よく過ごせる憩いの公園(南ゾーン)
- 子供たちが活発に遊びまわる公園(北ゾーン)
- 様々な交流・文化活動を育む公園(中央ゾーン)
- 災害時の避難場所となる公園(文化芸術施設を中心とした公園全体)



① 文化芸術施設	⑦ 民生活を想定するカフェ等	⑬ ホール遊び等ができる多目的広場
② 大階段とエントランス(盛土±GL+3.0m)	⑧ 公園のメインエントランス	⑭ 屋外トイレ
③ イベント広場	⑨ 交通公園	⑮ 駐車場
④ 大屋根	⑩ 子供の遊び広場	⑯ 駐輪場
⑤ クロマツのある芝生広場	⑪ ドッグラン	⑰ バス乗降場
⑥ 園路	⑫ 歩車共存の多目的広場	

ホール	2,500㎡
図書館	2,400㎡
中央公民館	1,000㎡
共用部	2,400㎡
合計	8,300㎡



公園全体の整備イメージ



5階建

- 【機能】
- ・カフェ
 - ・貸室
 - ・コワーキングスペース
 - ・ワークスペース
 - ・キッズスペース 等

31台

市有地(駐車場整備)

5 F	議会スペース	約1,500㎡
4 F	市役所スペース	約1,500㎡
3 F	市役所スペース	約1,500㎡
2 F	市民交流プラザ(仮称)	約1,400㎡ ペDESTリアンデッキ約236㎡
1 F	公用車駐車場 20台	
1 F	テナントスペース	約430㎡

(出典:市HP きざらづみなトーク 前提資料)

3章_旧庁舎跡地

- ・旧庁舎跡地の位置付けおよび周辺状況
- ・木更津市公設地方卸売市場経営戦略の概要
- ・卸売市場に導入が想定される「賑わい施設」の事例

旧庁舎跡地の位置付けおよび周辺状況

- 位置づけ
- 木更津駅から南西に位置し、木更津警察署、木更津市消防本部・消防署、かずさ水道広域連合企業団など**公共施設が**集積するエリア
 - 大型集客施設がオープンしている「築地地区」と、令和4年3月に飲食店舗、宿泊施設などがオープンを迎えた鳥居崎海浜公園がある「内港地区」の中間に位置し、**みなとまち木更津再生プロジェクト**における拠点の1つ。



外周道路地点から中の島大橋を望む



新開橋から西方向



新開橋から南方向
ウォーターフロントとなる敷地



敷地東と北側は幅員約6.5mの道路に
囲まれる。防潮堤が整備。



市役所通りに面し、バス停もあり、
アクセス性良好。

木更津市公設地方卸売市場経営戦略（令和6年3月）の概要

経緯：

市公設地方卸売市場が開設されてから約50年が経ち、**施設・設備の老朽化、耐震性能の不足**などにより、再整備が早急に必要な状況。

平成30年「公設地方卸売場再整備に向けた基本方針」

平成31年「公設地方卸売市場経営展望」

本経営戦略は、基本方針・経営展望の方向性を踏まえ、市場を安定的に継続していくための中長期的な経営の基本計画として策定。



- 目標1 「食」の地域への安定供給のための販売・流通機能を強化します。
- 目標2 安全で安心な「食」を消費者に届ける市場の機能を強化します。
- 目標3 「食」を取り巻く情報をつなぐ市場の機能を強化します。

整備場所：

新たに整備する候補地として、「現在地」と「旧市役所跡地」の2箇所で比較検討が行われ、**アクセス性や賑わい施設の立地、将来的な財政負担等を考慮すると、旧市役所跡地が適している**との見解。

再整備で導入する性能・機能：

性能・機能	内容
耐震性能	旧耐震基準の現市場施設の早急な再整備
品質管理機能	閉鎖式のコールドチェーン化の整備
加工機能	加工施設の敷地を確保
賑わい機能	食をメインとした賑わい施設を整備



賑わい施設：

卸売市場の食材提供やデジタルツールを活用し、市場の取扱量拡大や地域活性化に貢献する施設を、次の3つの方針で整備。

- ① 市場直結ダイニング
- ② 食の情報発信センター
- ③ 地域活性化ステーション

卸売市場に導入が想定される「賑わい施設」の事例

【事例】食育＋交流拠点

いくとぴあ食花 食育・花育センター(新潟市)

- 食育・花育に関する各種講座や様々な体験展示、花や緑の展示を通じて、食と花を楽しみながら学べる施設
- ▶にいがたの「食と花」にふれる食育・花育体験メニューの提供
 - ▶食育・花育活動の交流拠点
 - ▶情報ステーション:映像やパネルによる情報受発信拠点

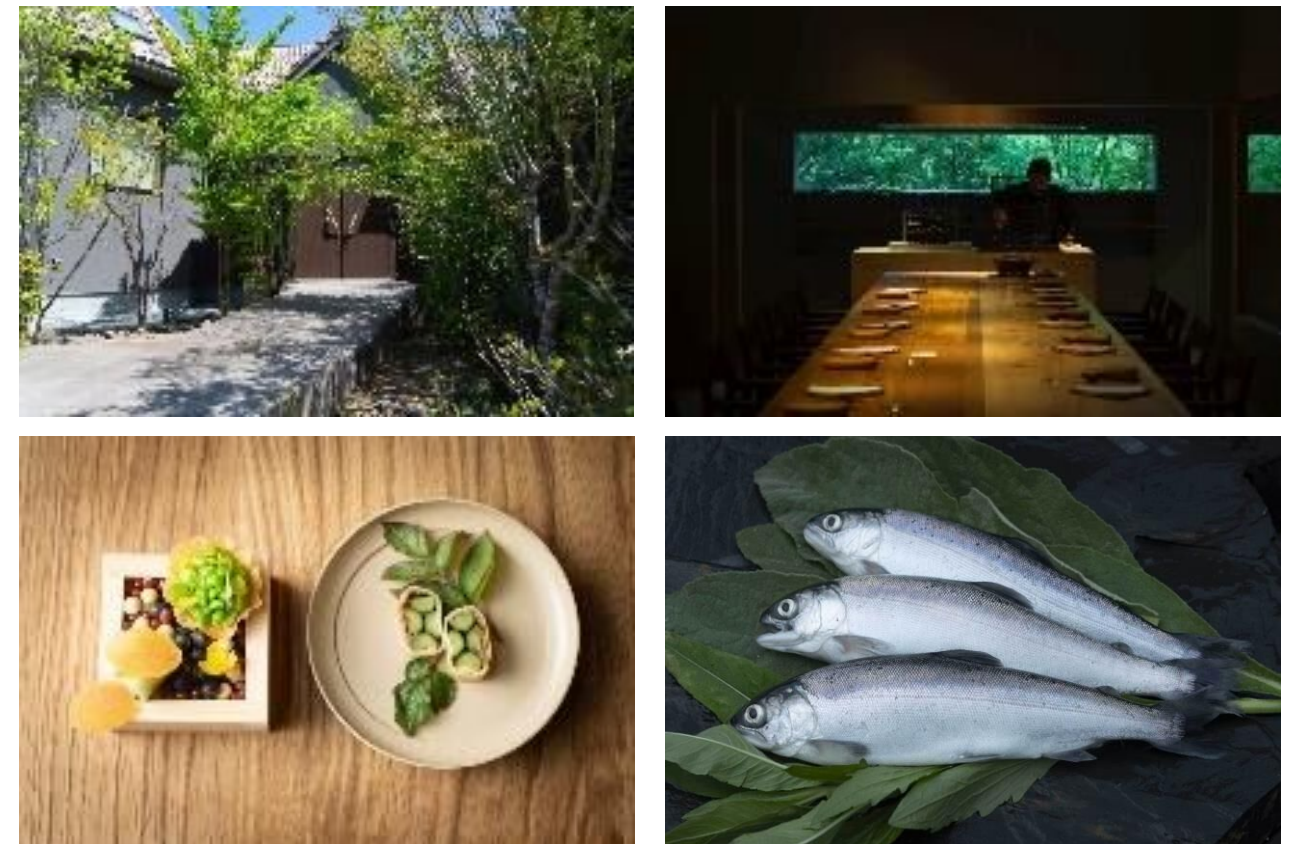


出典 <http://www.ikutopia.com/facilities/shokuhana/>

【事例】地域資産の活用

Restaurant SAI 楽(富士河口町)

- 生産過程に一貫して関与し地域とのつながりを重視
- ▶食の可能性を追求する複合型レストラン
 - ▶インバウンド層も参加できる体験イベントを実施予定
 - ▶地元ワイナリーや生産者とのペアリングイベントを開催予定



出典 <https://restaurant-sai.com/>

4章_回遊性向上

- ・ 本計画における回遊性向上の方針
- ・ 広域的回遊性／連携のしかけの例
- ・ 内港エリアの回遊性／連携のしかけの例

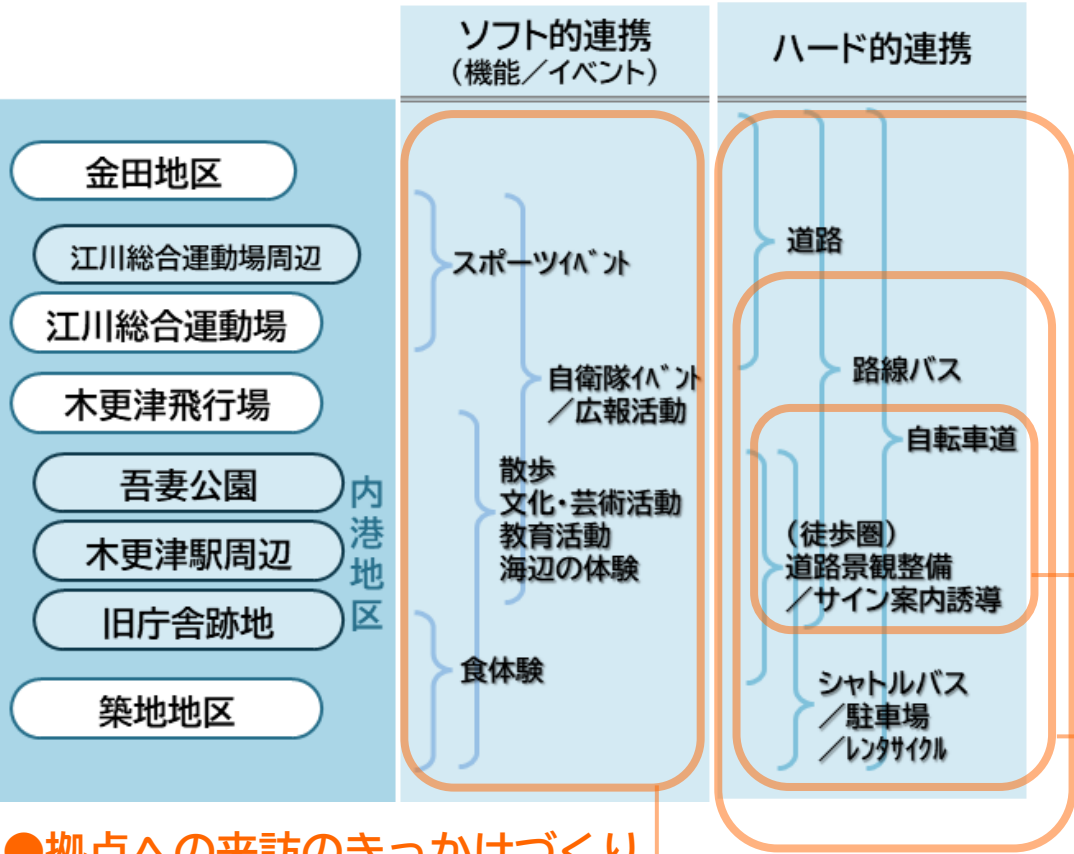
※下線部は、第2回委員会で特に議論いただきたいポイント

本計画における回遊性向上の方針

- 対象範囲にある拠点の性格はさまざま、利用するシチュエーション、移動手段と距離も多様
- 各々性質の違う拠点のため役割が重複しづらく、きっかけづくりをおこなうことにより、他の拠点への移動が生まれる可能性がある

方針：拠点を中心とした連携のしかけづくり
※中心市街地活性化計画（第2期）の目標にて、目標①休日の賑わい促進と掲げられていることから、主に休日の回遊性向上を重点的に提案

連携のしかけの分類イメージ



●拠点への来訪のきっかけづくり
(イベントや体験プログラム)

+ ●「拠点」の新規整備または強化



広域的回遊性／連携のしかけの例 (注_既存の取り組み例も含む)

例_観光レンタサイクル +サイクリングルート周知 @観光案内所



- 拠点への来訪のきっかけづくり
- 移動手段の提供

例_観光スポットをつなぐ道路 にサイクリング推奨ルート の案内整備や、自転車休憩 所、宿泊所整備



休憩所のイメージ



宿泊所のイメージ

- 拠点への来訪のきっかけづくり
- 移動手段の提供
- 拠点の強化
- 広域ルート、立ち寄り拠点の強化



広域的回遊性の しかけの例

例_市民の新たな交流拠点 @防災機能を有する公園



例：農産物直売所

- 新拠点の整備
- 拠点来訪のきっかけづくり

例_共通のテーマのイベン ト連携

防災スポーツイベント @江川総合運動場+防災機能を 有する公園

- 新拠点の整備
- 拠点への来訪のきっかけづくり

例_海辺イベントの同時期開催 +水上シャトルバス



- 移動手段の提供
- 拠点への来訪のきっかけづくり
- 広域ルート、立ち寄り拠点の強化

内港エリアの回遊性／連携のしかけの例 (注_既存の取り組み例も含む)

例_らぶFit&いきいき木更津
ウォーキングマップ

●歩きまわりの促進

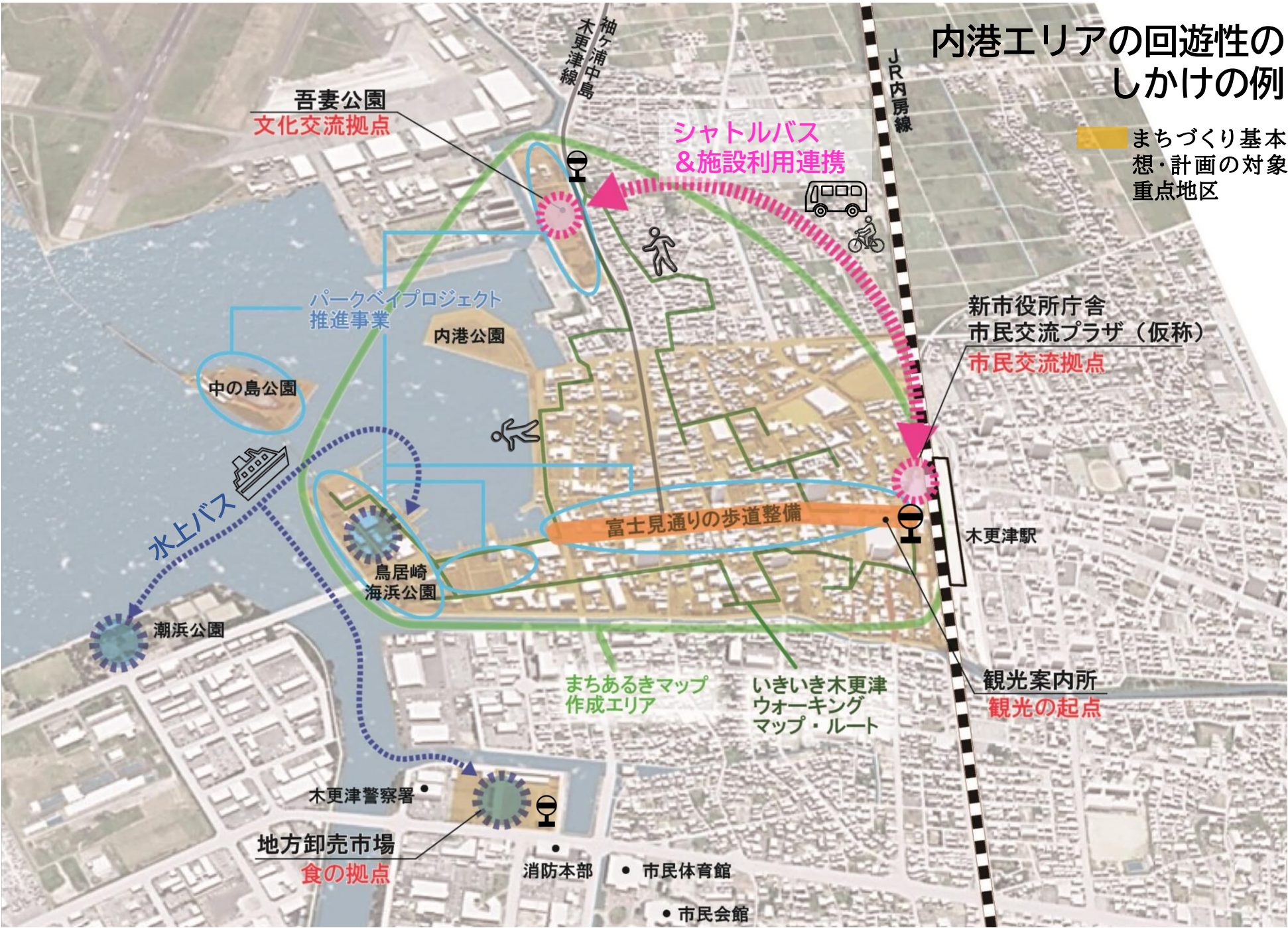
例_共通のテーマのイベント連携
@ 潮浜公園⇄旧庁舎跡地⇄鳥居崎海浜公園でのオーガニックフードフェア

●拠点への来訪のきっかけづくり
●多様な移動手段の提供

例_まちあるきマップの配布

●拠点への来訪のきっかけづくり
●歩きまわりの促進

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（他3地区）策定支援業務委託



例_二つの市民活動拠点の交流促進イメージ

●新拠点の整備、●多様な移動手段の提供

例_富士見通歩道再整備

●歩きまわりの促進

(出典：市HP 富士見通り歩道再整備)

例_楽しく歩くことを促進する地域サイン

●歩きまわりの促進